

第3回大野市総合教育会議 会議録

日 時：平成29年1月19日（木）午後3時～3時40分

場 所：大野市役所 大会議室

第3回大野市総合教育会議次第

日時：平成29年1月19日(木)午後3時

場所：市役所 大会議室

1 開会

2 あいさつ

3 協議

(1) 大野市小中学校再編計画(案)について

4 その他

<出席者>

	市長	岡田 高大
教育委員会	委員長	洞口 幸夫
	職務代理者	清水 美那子
	委員	山川 秀
	委員	關 園子
	委員	松田 公二
事務局（説明者）	副市長（企画総務部長）	田中 雄一郎
	企画財政課長	清水 啓司
	教育長（再掲）	松田 公二
教育委員会事務局長		小川 市右エ門
	教育総務課長	木戸口 正和
	学校教育審議監	道 鎮 栄 一
	生涯学習課長	中 村 吉 孝
	〃 課文化財保護室長	中 村 りえ子
	〃 課スポーツ振興室長	砂 子 淳 一
（書記）	教育総務課課長補佐	山 田 靖 子

<傍聴者>

3名

1 開会

【教育総務課長】 ご案内のお時間となりましたので、ただ今から、本年度第3回の大野市総合教育会議を開催させていただきます。

会議に先立ちまして、市民憲章と教育理念の唱和をお願いします。

——<市民憲章と教育理念の唱和>——

教育総務課長主唱

2 あいさつ

【教育総務課長】 それでは、市長の挨拶をお願いします。

【市長】 本日は、第3回目の総合教育会議になりますが、教育委員の皆様方には、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。日頃から大野市の教育行政という点でしっかりとお支え頂いていること、改めて感謝とお礼を申し上げたいと思います。

本日は、総合教育会議ということで、教育委員会部局と市長部局とが教育行政を進めるに当たりまして、調整、協議をする会議でございます。

本日の会議では、これまで永きに亘りましてご議論、ご審議いただきました学校再編計画案につきましての調整と協議ということでございます。

この学校再編につきましては、平成16年度に再編計画が公表されまして推移してまいりましたが、少子化が予想以上に進んでいるということで、平成25年度から教育委員会事務局のほうで、児童生徒数の推移であったり、あるいはそれぞれの学校を取り巻く環境など関係者に説明、あるいは学校教育審議会への諮問、そういったものを重ねられまして、本日に至っているということでもあります。

また、一方、教育委員会さんのほうでは、再編計画案を作成いただきまして、何度となく教育委員会を開催いただきまして、ご審議いただくと同時にパブリックコメントあるいは住民説明会での意見等を慎重に協議していただいたと伺っております。本日の総合会議は再編計画案を教育委員の皆さん方と協議、調整をさせていただくこととしておりますので、どうかよろしくようお願い申し上げまして、開会に当たりましてのあいさつとさせていただきます。

【教育総務課長】 これからの進行は、大野市総合教育会議設置要項で市長が議長となると規定されておりますので、市長をお願いいたします。

3 協議

【市長】 それでは、次第に倣いまして進めてまいりたいと思います。

3番目の協議に入りたいと思います。大野市小中学校再編計画(案)につきまして、説明をお願いいたします。

【委員長】はじめに、私の方からこれまでの経緯について、若干、説明を申し上げたいと思います。教育委員会では、先ほど市長さんのお話にもありましたが、平成16年4月に小中学校再編計画を策定しております。

この計画に基づき、平成18年4月に六呂師小学校と阪谷小学校を再編し、平成22年4月に森目小学校と富田小学校、平成24年4月に蕨生小学校と富田小学校を再編しました。

その後、児童生徒数の減少により小中学校の小規模化が進み、再編計画の見直しが必要となりました。

このため、3年半前の平成25年6月から「少子化の現状と再編の必要性」、「再編計画（素案）」、「再編計画（案）」の説明会開催、パブリックコメントの実施と段階を踏んで、市民の皆様丁寧に説明してまいりました。

そして、説明会やパブリックコメントでお伺いしたご意見を踏まえ、再編計画案を作成するため、10月から定例教育委員会を3回、臨時教育委員会を5回開催し、十分な検討を行ってまいりました。

教育委員会といたしましては、学校の小規模化が進行している状況に鑑み、本市の将来を担う児童生徒の教育環境のより一層の充実を図っていくことが教育委員会の責務であると考えており、本再編計画案を作成させていただきました。

それでは、いまから事務局から、資料に基づいて説明をさせていただきます。

【教育委員会事務局長】では、私の方から資料に基づき説明させていただきます。

——<資料 説明>——

【市長】ただいま事務局の方から再編計画案について、説明いただきましたが、教育委員さんの方から、ご確認も含めまして、ご質問等がありましたら、お受けしたいと思います。

【委員長】これまで臨時会を度々開きまして、かなり検討を重ねてきました。その際、いろいろと、「ここを修正した方が良い」とか見直しをしてきたわけですが、十分、委員の意見を吸収しながら計画に反映されていると、私は思います。

【清水委員】今日、こうして再編計画案が総合教育会議で出てまいりましたので、この計画案についての市長さんの見解は、どうでしょうか。ご意見がありましたらお聞かせ願いたいと思います。

【市長】教育委員会さんが何度となくご協議、ご審議いただきまして本日に至ったということで、私も非常にありがたく思っております。

平成16年度から始まりました再編ですが、諸事情を踏まえまして、平成25年度から新たに見直しに取り組み、それぞれご協議いただきながら今日に至ったということでございます。

特に、平成25年から教育委員会さんのほうでは、やっぱり子ども達を取り巻く環

境も変わってきていますし、適正規模という文部科学省の定めたものにも沿ってやっていただきたいというようなことでもありますし、さまざまなご意見もあることは承知しておりますが、こうして取り纏められたことに対して、改めて感謝申し上げたいと思います。また一方では、教育の独立性ということもございますので、教育委員会さんのお考えを、今日現在、私自身も尊重してまいりたいという思いでおります。

【委員長】この再編計画案ですが、今後10年以内に小学校2校、中学校1校と学校を3校新築するとしているのですが、財源手当について、市長さんのお考えがあれば、お聞かせ願いたいと思います。

【市長】まず、10年以内に小学校2校、中学校1校にするという前段について申し上げますと、10年後をみますと、現状のままだと、今、現在ある小中学校を順次更新していかなければならない時期が来ます。その時の財源手当は、同じように大事なことになるのだと思います。

再編による中学校1校、小学校2校の財源手当につきましては、もちろん、従来の文部科学省の補助金があるのだと思いますけれども、また起債を起こせるようになってくるのだと思いますが、今、全国の市長会などでも議論となっておりますのは、学校の更新や再編が浮上している中で、文部科学省への訴えかけとしまして、上乗せ補助とか補助枠の拡大などといったことも申し上げているのですが、なかなか文部科学省の学校建設費の補助枠というのは大きくなっていないのが現状です。ですから、若狭町だったか、「来年、学校の建て替え（建て増し）があるが、なかなか予算が厳しいので」というような話も聞いています。できたら、計画というものを早く国に伝えるということが、一番予算の確保にはつながっていくんだろうと思います。

また、新しい財源の確保、今、国では平成27年の国勢調査の結果を受けて、過疎法の見直しなどもございますので、今、それも対象にならないかというような運動も去年から行っております。そんなことも含めて、何とか財源の確保に努力していきたいと考えております。それと、福井県に対しても、県内の自治体も学校の改築に大変苦勞していますので、県の市長会と創生福井首長会のほうでも学校建設に当たっての補助金の上乗せ、国に準じた形での上乗せをしていただけないかと、そんな要望も今年度から行っています。結果としてはまだ出ておりませんが、根強く要望していくということが必要だと考えており、何とか財源の手当をしていきたいと私自身も思っています。

【山川委員】再編計画案では、児童生徒の通学のために、かなりの台数のスクールバスを運行することが必要となるわけですが、そのことにつきまして市長さん、何かお考えがありましたら、お聞かせ願いたいと思います。

【市長】学校へ通学するに当たっては、必要なところへはスクールバスで手当するというのは当然だと思いますし、子ども達が集団登校できずに一人で学校へ通っている姿

を見ますと、スクールバスで登下校をお支えした方が良いのではないかと思います、それぞれ思いは同じだと思います。

当然、運行本数も多くなると思います。そういう手当をしていかなければならないと思います。ただ、福祉の先進事例などを見ますと、市民の路線バス、コミュニティバスと併用してやっていくといいますか、もちろん学校への登下校については無償となっておりますが、コミュニティバスを利用することで、子ども達だけが乗るバスでなくて、大人も乗ることによって見守りも出来ますので、そういった事例もあります。そういったものも取り入れられるところは取り入れながら、スクールバスあるいはコミュニティバスで、あるいはデマンドタクシーという形もあるのかもしれませんが、先進事例なども見ながらそれぞれの時点で考えながら、子ども達の足の確保には、しっかりと全面的に努めていくことは必要であると考えております。

そのような事を考えながら、今後、運行計画を立てていく必要があるのだらうと思います。

【關委員】 再編計画についていろんなご意見を持っていらっしゃる方がおられるので、慎重にお願いしたいと思うのですが、そういう意見を持った方に、市長さんはどういうふうにしていかれるか、お聞かせ願えればと思います。

【市長】 もちろん、今、総合教育会議を経て、最終的には教育委員会のほうでご決定されれば、それに向かって、我々市長部局は、今お話いたしましたように財源確保に努めていく必要がありますし、また、大きい方向性が示されるのだらうと思います。

それに向って段階を踏んで、やるべきことはやっていくということ、説明もしながら進めていけたらなというふうと考えております。

市長部局としては、市がやらなければならないことは市がやっていくということで進めていきたいと思っています。

【關委員】 よろしく申し上げます。

【市長】 私のほうから、いいですか。

再編計画案の中で、再編推進協議会をつくるとなっているのですが、これは、いつごろからと考えているのですか。

【教育委員会事務局長】 地区におきましては、学校再編を進めていただきたいということですので、平成29年度になりましたら、速やかに設置していきたいと考えております。

【市長】 推進協議会の設置も速やかに進めていきたいということなので、地区でよく協議していただいて、再編推進協議会の役割などをしっかり説明しながら、やっていただきたいと思います。

それと、もう1点ですが、総合教育会議が済んだ後、今後どういったスケジュールを予定しておられるのか、お聞きしたいと思います。

【教育総務課長】この後、教育委員会を開催させていただきまして、大野市小中学校再編計画を決定させていただきたいと思います。それを受けまして、パブリックコメントの回答と大野市小中学校再編計画を市のホームページに掲載させていただくと共に、各公民館などに設置して公表したいと考えております。

また、広報おおのには、再編計画の概要も掲載してまいりたいと考えております。

【市長】各地区の区長会と語る会の中で出た話ですが、区長さんの方から、「再編時期を待たずに（統合を）するということも選択肢としてあるのか」、というご質問もあったんですが、そのことについてはどうですか。

【教育委員会事務局長】まず、地区のほうで再編推進協議会で説明させていただきまして、どういうものを協議していただくかということも十分説明させていただきたいと思います。その中で、その地区の総意の中で、早くしていただきたいということがございましたら、再編推進協議会の中でご意見をいただきながら、その地区につきましては、みなさんとお話をさせていただきたいと思います。

【市長】地区として要望があれば、対応していくということですね。

【教育委員会事務局長】はい、そのようにさせていただきたいと思います。

【市長】わかりました。

そのほか、委員さんの方から何かございましたらお願いします。

【委員長】本日、総合教育会議を開催いただきましたが、今後、また私どものほうから総合教育会議を開催いただきたいことがあると思うので、その調整をお願いしたいと思います。

【市長】はい、わかりました。

よろしいですか。

私からも何点か確認させていただいたので、もう委員さんのほうでご質問がなければよろしいですかね。

教育委員会さんには、これまでも十分時間をかけていただいておりますので、先ほどもお話させていただきましたが、教育委員会のご判断を尊重する立場には変わりはありませんので、教育委員会さんのほうで最終的な判断をさせていただきたいと思います。

本当に永きに亘りまして、ご議論賜りましたことに感謝と礼を申し上げまして、この協議事項は終わらせていただきたいと思います。

4 その他

【市長】それでは、その他に移らせていただきます。

委員さんの方から、何かございますか。

【委員長】私からは、特にございません。委員の皆さんいかがですか。

——<委員一同、「ありません」>——

事務局、他に何かありますか。

【教育総務課長】 特にございません。

閉会

【市長】 他になければ、本日の第3回目の総合教育会議はこれで終了させていただきたいと思います。たいへんご苦労様でした。

午後3時40分終了